

令和6年度 第1回高知市広聴広報推進委員会 議事概要

○開催日時：令和6年7月19日（金）18：00～20：00

○場 所：本庁舎4階422会議室

○出席者：玉里委員長，松本副委員長，徳弘委員，尾崎委員，三宮委員，小林委員，市野委員事務局（森田課長，川添補佐，松原係長，津野，岩原，柳澤）

○会次第

1 開会

2 議事

（1）令和5年度広聴広報戦略プランの取組報告

（2）第3期広聴広報戦略プランの概要

（3）令和6年度からの新しい取組

3 閉会

○項目ごとの意見等概要

（1）令和6年度広聴広報戦略プランの取り組みについての報告

■市長と語ろう会

【委員】

ここで出された提案について，実際に反映する予定だったり反映できたりしたものはあるか。

【事務局】

ホームページをリニューアルする際に AI チャットボット機能を追加することや，SNS での情報発信を充実させることなどのデジタルの視点での意見を取り入れていきたい。

■出前講座

【委員】

各依頼先に合わせた内容で出前講座を行うのか。

【事務局】

例えば防災の場合では，エリアに合わせた，避難タワーとセットになった紹介など，テーマとしては「高知市の防災」で引き受けるが，その中のメニューというのはその地区によって組み，それぞれケースに合った講座を実施している。

■PR大使

【委員】

インフルエンサーを活用することで，イベントの集客に繋がったなどの効果や手応えは感じられたか。

【事務局】

舞台での高知のPRや、Instagramに画像を載せてくださったりしたことで、川村さんのInstagramのフォロワーが「高知いいですね。行ってみたいです。」というアクションを起こしてくださることがあった。

【委員】

高知市で行われたアニメのイベントで、声優や監督が高知に来てイベントの告知をしたことで、それまで高知に注目していなかった若者やアニメ好きな人、アイドル好きな人が東京や海外から来たということがあった。重要なのは来てほしいターゲットに情報を発信することだと思う。

■SNS

【委員】

ウェブモニターでもLINEでも女性の登録者が多くなっているが、男性を増やす取り組みはしているか。

【事務局】

市の公式LINEを登録するのは世帯に1人というパターンがかなり多く、母親が登録して子育てに関する情報を受け取っているということや人口比が女性の方が多いたということがあり、女性の登録者が多くなっていると考えられる。現状では男性に焦点をあてた取り組みは行っておらず、全体の総数を増やす取り組みに力を入れている。

【委員】

男性が行政の情報に興味を持つような仕掛けについて、何か考えられるものはあるか。

【委員】

高知ユナイテッドSCが良い結果を残していることから、スポーツと関連させたものをつくれば男性の登録者が増えるのではないか。

【委員】

公式LINEの登録者が約2万人いるが、LINEでアンケートを配信したことはあるか。

【事務局】

公式LINE開始時の、最初のキャンペーン企画がアンケート形式であったが、その後は配信したことはない。

【委員】

高知商工会議所青年部を通してアンケートを実施すれば、100~200人規模で30・40代の経営者から回答が得られる。意識が高い人を対象にできるので、連携してもいいのではないか。

【委員長】

公式 LINE の登録者について、人口比に対して 20 代が何パーセント登録しているのか調べれば、若年層の登録者が少ないという結果も変わって見えるかもしれない。アンケート結果の取り上げてほしい内容の上位にイベントや子育てがきていることから、若い人たちの期待が大きくなってきているように感じる。その結果から次の戦略を考えていくべきではないか。

【委員】

登録者の区分けで「50 代以上」となっているが、例えば 50 代 60 代 70 代以上とか 3 つに分けたら、40 代より少なくなるかもしれない。そうすると見方も変わってくる

【事務局】

システム上、「50 代以上」でしか数値が取れない仕様になっている。

■職員のスキルアップ

【委員】

広報活動支援サポート事業の実績件数が減っているのは、研修などにより各職員の意識が上がり技術が上がっている成果ともとれるが、どうか。

【事務局】

イベントを多くやる部署は、支援依頼が来た際のチラシのベースのできが良く、研修を受けて意識が高くなりスキルも上がっていると感じる。

【委員】

支援サポート事業の支援実績の「その他」について、令和 4 年は 13 件で令和 5 年は 0 件になっているが、各課が申し込みフォームの作成などをできるようになったのか。

【事務局】

もともと広聴広報課で運用していたアンケートシステムがあったが、約 2 年前から高知県が運用するアンケートシステムを高知市でも運用できるようになったことが要因ではないか。

■ソフトバンク株式会社との連携協定

【委員】

ソフトバンクのユーザーでなくても、スマホ操作のサポートを受けることは可能なのか。

【事務局】

可能である。まず苦手意識を持っている人が気軽に来られるような機械を増やしていくというのが大事なところだと考えているので、個別に参加できる出前講座や、市の他のイベントでも、アプリを使える体験なども含めて、日常使いができるような機会を増やしていきたいと考えている。

■高知市公式手話動画チャンネル

【委員】

手話動画チャンネルの開設をあかるいまちなどで広報したか。

【事務局】

コンテンツが少なく、中身が充実してから PR したいので、まだ広報はしていない。高知県聴覚障害者協会の会報誌などを通じて発信してもらうなどの連携が必要だと考える。

【委員】

「あかるいまち 令和5年12月号」を最後に更新が止まっているが、今後更新されていくのか。

【事務局】

まず試験的に広報誌を取り上げたが、最終的には「あかるいまち」の手話動画チャンネルではなく高知市の手話動画チャンネルとして、各課が自ら情報を載せられるようにしていきたいと考えている。

【委員】

理想は音声と字幕が入り手話もある動画であると考え。障害の有無にかかわらず、音声で聞いて捉えることができる音声付きの動画だと便利だと思う人がいるので、検討してみてもどうか。聴覚障害者のうちの何パーセントが登録しているのかを数値を出した上で、次の対応を考えるとよいのではないか。

■第3期 高知市広聴広報戦略プラン

【委員】

なぜ5か年計画なのか。

【事務局】

同じく令和6年度から始まる「第3期高知市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を補完するものとして、同様の計画期間とした。

■ホームページのリニューアル

【委員】

市民向けのアンケートは実施予定か。

【事務局】

昨年度、市民ウェブモニター制度を活用してアンケートを行ったが、母数が少ないというがあるので、公式 LINE を使ったアンケートを、やり方等を絞ったうえで、可能であれば実施したいと思っている。

【委員】

観光情報ページは、市外・県外の人も見ることが多いと思うが、特設サイト等は考えているか。

【事務局】

移住や観光、ふるさと納税等のキャンペーンページを作りたいという要望もあるので、プロジェクトチームの中で検討しながら進めていく。

【委員】

デザインのみでなく、SEO対策等もしっかりと検討するとよいのではないか。知りたい情報にスムーズに誘導できれば、デザインや見やすさと合わせて、より強力な仕様になるのではないかと思う。

【事務局】

知りたい情報への誘導については、AIチャットボット等に、検索結果のページの滞在時間から検索の履歴やルートを学習させれば、「このページではないですか」とAIがスムーズに案内してくれるというものが理想である。

【委員】

家が遠くて市役所に来るのが難しいが直接話したいという方も一定いらっしゃるので、1人15分程度でもいいのでリモートの相談窓口を開設して、ホームページから利用できるようにしてはどうか。

【委員】

事業者の方は入札情報等を毎日のように見ており、ページビュー数の多くを占めていると思うので、そのような方にもホームページをどのようにしたらより使いやすいかを聞いてみてはどうか。